

東京ふれあいマラソン

'98神宮外苑

12月20日(日)

ロードレース

元オリンピック選手の宮原美佐子さん（旭化成勤務）。各地の市民マラソンのゲストとしてよく走りますが、世界レベルの選手と“記録”だけを競っていた現役時代と違って、父親世代の方や金髪の若者など、本当にいろいろな方がそれぞれ自分なりに頑張っている姿を見て、”私が頑張っている”と思いこんでいたことが信じられない思いです。

そうした体験を通して、現在は心から“走ること”を楽しんで、いる宮原さん。

盲人ランナーの伴走や、養護学校の子ども達への指導などに力を注いでいま

いっしょに走る・みんなで走る
『がんばる姿はみんなすてき』

◆私も走ります
宮原美佐子さん
(ケストランナー)

す。「たとえば、汗をにじませて走る子どもたちに障害者の区別はない、どの子も走ってる時は本当に素敵です。ごく自然に手を差し伸べ合うような雰囲気が生まれるんですよ」。そうしたことを実際に自分の子にも見せたい、と今回宮原さんはお子さんやご主人も会場に連れて行くそうです。

当日は午前9時15分から、国立競技場を発着スタート。ランナーは神宮外苑周回コースをまわって伸びる技術のコールをめぐらします。皆さんの熱い声援をお願いします。●お問い合わせ／神宮外苑ロードレース実行委員会事務局TEL：03-3503-4855



日本財団
The Nippon Foundation

日本財団は、競艇の売上の3.3%をうけて活動しています